

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成27年10月18日実施）

那須烏山市大木須地区「休耕田・古民家周辺の草刈り」

オオムラサキの保全活動・放蝶会、ホタルの観察会、そば祭り等活発な活動を行っている那須烏山市大木須地区で、夢大地応援団活動が10月18日、応援団員27名、地元保全会員24名、関係機関3名の合計54名が参加して実施されました。

応援団の内訳は、ボランティア団体・ナルク栃木の会員14名、県農政部職員や市の職員12名等です。開会式では、実施団体「里山大木須を愛する会」の堀江会長、那須烏山市の大谷市長の歓迎のあいさつがありました。その中でお二人とも今年オープンし、宿泊しながら里山体験の出来る築130年の農家古民家を改築した「ほたるの里の古民家おおぎす」を核に、これからも里山の保全活動を進めていくので、皆様方のご支援をお願いしたいとの話がありました。

地元並びに公社（8台）や応援団員自らが用意した草刈り機約15台、また公社で用意した手鎌の部隊22名で、休耕田約2ヘクタールと古民家周辺の草刈りを実施し、見事すっきりさせることが出来ました。地元からは「応援団のおかげで、気持ちよくそば祭りが出来る」と感謝しておりました。

その後、地元女性軍8名で作って頂いた豚汁、大根・人参・ハヤトウリ等のおいしいきんぴらや漬け物、そして地元の新米コシヒカリのおにぎりに舌鼓を打ちました。

昼食あとの交流会で意見交換を行った後、堀江会長の案内で古民家宿泊施設を案内して頂き、「今度は泊まりがけで支援に来ていいな」との発言がありました。



大谷市長を囲んでの記念写真をパチリ



堀江会長からのあいさつ



手鎌による草刈り部隊も悪戦苦闘して取り組みました。



こんなところもありました。



こんなに綺麗になったぞー！



古民家への入り口にある休耕田も綺麗になりました。



婦人部で用意して頂いた昼食を挟んでの意見交換会